本当に市名を変更してよろしいか？

「市名変更問題」

篠山の名産品である農作物など、「丹波篠山産」と表示するためには
市名を「丹波篠山市」に変更する必要があるとの理由で、
一部の団体から市名変更の要望書が市長宛に提出された旨の報道に接し、
私たちは驚きました。

今、なぜ市名を変更しなければならないのでしょうか。

「知名度を上げるため」、「産物のブランド名を守るため」等、いわれていますが、「産物の売上を伸ばすための市名の変更は、私たちの住所や本籍の表示まで変更することになります。
また、市が㈱日本統計センターに委託して調査した結果では、10年間で52億円の経済効果(?)とあるが、まるで、「絵に描いたモチ」の話です。さらに、同調査では、市名変更をしても訪問頻度は95%が変わらず、購買力(8品目)も平均で97%が変わらないといっています(末尾図表参照)。

市名の変更は、全住民に大きな影響を与えることになります。

みんなで「住民投票」を求めましょう。

市名「篠山市」が良いという理由

1「篠山市」はシンプルで美しい。地名は2字が最適。

2 この「篠山市」を子供たちに末長く守り伝えたい。

3「三田市」、「篠山市」、「丹波市」とバランスが取れている。

4 歴史、文化及び伝統の面からも「篠山市」で評価されている。

5 田舎・山奥の代名詞として使われる「丹波」は、もう避けたい。

6「丹波篠山」は愛称として既に全国で有名。公称「篠山市」との両立に問題なし。

7 産物の「丹波篠山産」「丹波篠山」はブランドとして 将来とも問題はない。

8「丹波篠山」は「篠山市内一円であり、他所ではない」旨をリーダーによって宣言すべきである。

9 今やスマホやカーナビによって商店や名所を直接訪ねる時代である。

10「丹波篠山市」になると次のようなことになる。
① 「丹波市」との混乱、混同が今以上に広がる。
② 住所や本籍の記載について全住民の生涯続く余分な書き負担となる。
③ 報道機関の報道等、より混乱が生じることとなる。
④ 外国人にとって「Tamba Sasayama City」と「Tamba City」の判別が難しい。
⑤ 52億円の経済効果は、数字のマジックで、すべてが「たら」「れば」の話。
⑥ 各史跡の名称と整合性がとれない。
⑦ 市名の読み方「シノヤマ」問題は解消しない。

11 全市民に迷惑な市名を変更して経済効果を上げようとするのは本末転倒である。

12 岐阜県高山市は「飛騨高山産コシヒカリ」で有名。でも問題はない。

13 奈良時代(713年)に元明天皇から地名の「好字二字令」を発し、「地名は2字以内にすべし。」との勅令が出された。

寄せられた投書

昨年12月中旬、「ある主婦(パート)さん」から

「署名活動に思う」

私は、ある会社に勤めています。
あるとき、主任さんから「市名変更に関する要望書」へ署名を求められました。私は、現在の「篠山市」のままでよいと思っているのに、先にされた署名はグループの方全員が賛同して署名していました。
私は、仕方なく同じように署名しましたが、あとで休憩のときに話が出て、「署名が回ってきたら署名しない訳にはいかないね。」といってお互いに仕方なく署名されたようです。
また、数日後、私の自治会の人からも直接署名簿を持って回って来られ、「おうちの人の名前も書いてね。」と言われたので、子供と主人と祖母の名前も書きました。署名は、民主主義の世の中で団体の意見を聞く一つの方法かもしれませんが、先に署名された人にならって、来られた人の顔色をうかがいつつ署名しなければなりません。
「これもお付き合い」という気持ちで署名することになります。
このように署名された要望書は、市長様は喜んでおられるようですが、友達に話しても殆どの人は「市名は変更してほしくない。」という人が多いように思います。
署名は、「数」の問題ではありません。
個人が「どのような思いを持っているか。」を個別にかつ秘密裏に求めるのが本当の市民の声ではないでしょうか。

ある農家の方から

篠山の特産品は、個人農家が丹精込めて栽培し、その品質の高さで現在のブランドを築き上げました。
高齢化、後継者不足で、耕作放棄農地が増えていますが、耕作不能な農家は、5～10年後には激増し、栽培量はますます減少していきます。
大規模農家は、効率と量を追い、手のかかる山の芋や黒豆のような特産品の栽培はますます敬遠されていきます。
現在でも需要に追いつかない特産品の栽培農家の育成こそ、市がブランドを守るべき施策です。
市名変更によって、特産品栽培農家や農地が増えることはないので、市のいうところの経済効果に反して、市名を変更しても生産・出荷量は、当然右肩下がりになります。

市が行った「市名変更にかかる経済波及効果等調査報告」では未発表の調査結果です。

インターネット調査による篠山市のイメージ調査

㈱日本統計センターによる調査報告書より抜粋

■ 訪問頻度について
「95%の方々は市名変更となっても訪問頻度はかわらない。」という結果

■ 8 商品の購買力について
「平均約 97%の方々は市名変更となっても購買力は変わらない。」という結果

市名変更問題に関するご意見をお寄せください。

発行　市名変更問題駆込み処　梶原周逸　〒669-2335 兵庫県篠山市乾新町5番地5
☎079-552-6223　FAX 079-552-6213